



2021年7月30日

各 位

上場会社名 双信電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 上岡 崇
 (コード番号 6938 東証第1部)
 問合せ先 経営推進本部長 中西 港二
 (TEL 03-5730-4500)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2021年4月28日に公表した業績予想および配当予想を修正しましたので、お知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株あたり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,400	300	300	200	12.82
今回修正予想(B)	5,700	600	600	560	35.90
増減額(B-A)	300	300	300	360	—
増減率(%)	5.6	100.0	100.0	180.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	4,388	△188	△213	△186	△11.93

2022年3月期通期連結業績予想の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,800	600	600	400	25.64
今回修正予想(B)	11,500	1,200	1,200	1,000	64.10
増減額(B-A)	700	600	600	600	—
増減率(%)	6.5	100.0	100.0	150.0	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期通期)	9,562	87	43	142	9.16

2. 2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正理由

当第1四半期累計期間の当社主要市場の状況は、パワーエレクトロニクス市場では中国経済の回復やデータセンターの増強などで、工作機械、半導体製造装置市況の回復が進み、情報通信市場では高速大容量通信へ対応した新規規格Wi-Fiや第5世代移動通信システムなどの新市場が拡大しました。

業績面では好調な市況を背景とした売上増に加え、生産性向上やコロナ禍での出張制限などによるコスト削減、また、為替が円安で推移したことなどにより利益も想定に比べ増加しました。

第2四半期は、ノイズフィルタを生産するマレーシアで新型コロナウイルス感染症が拡大し、現在政府の要請により工場の稼働を制限していることや、一部サプライヤーからの部品供給納期が長期化していることなどから、当第1四半期累計期間に比べ売上高、利益とも減少する見通しです。ただし、市況は引き続き好調を維持すると判断したことから、第2四半期累計期間の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益いずれも前回予想を上回る見込みとなりました。

3. 2022年3月期通期連結業績予想の修正理由

下期は来期以降の受注動向を見据えた増産体制構築による費用増を見込んでいますが、市況は好調に推移すると判断し、通期業績予想は第2四半期(累計)業績予想の修正を踏まえ修正しました。

4. 配当予想の修正内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2021年4月28日発表)	2円	2円	4円
今回修正予想	4円	4円	8円
(ご参考) 前期実績(2021年3月期)	2円	2円	4円

5. 配当予想の修正理由

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけ、着実に利益を確保し財務体質を強化するとともに、今後の業績動向や事業展開などを総合的に勘案した安定配当の実現を配当の基本方針としています。

当期の業績は、前述の通り上期、通期とも前回予想を上回る利益を確保できる見通しであることから、中間配当予想、期末配当予想とも前回予想に比べて1株当たり2円増配の4円とし、通期で1株当たり8円とさせていただきます。

(注記)

業績予想は、現時点で得られた情報にもとづいて算定していますが、多分に不確定な要素を含んでいます。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と乖離する結果となりうることをご承知おき下さい。

以上